

第1回三次市学校給食食材安定調達連絡協議会 議事録（概要版）

日 時 令和3年8月10日（火）13：30～15：10

場 所 三次市役所本館6階602会議室

出席者 委員8名 事務局6名

1 開会・挨拶

事務局の学校教育課長が進行し、教育次長が挨拶を行った。

2 委嘱状交付

委員8名に委嘱状を交付した。

委員、事務局がそれぞれ自己紹介を行った。

3 会長・副会長選任

三次市学校給食食材安定調達連絡協議会設置要綱第4条に基づき、委員の互選により、村田和賀代委員（県立広島大学生物資源科学部地域資源開発学科 准教授）が会長に選出された。

同じく互選により、中廣晋委員（三次市産業振興部長）、甲斐和彦委員（三次市教育委員会教育次長）が、副会長に選出された。

4 議事

事務局が、次の内容に関する説明を行った。

①（仮称）三次市新学校給食調理場の整備概要

説明資料：（仮称）三次市新学校給食調理場整備計画

② 現状説明

- ・給食費について
- ・野菜・果物の取扱量等について
- ・献立作成から野菜の納品までの流れ

5 委員からの意見（抜粋）

○年間計画をつくって、計画的に生産する必要がある。

○地元の農家の生産量を知りたい。

○生産者の掘り起こしが必要である。

- 荷姿（コンテナ，段ボール等）や規格はどうするのか検討したい。
- 急なキャンセルや野菜が早熟したときの対応はどうするのか。
- J Aの産直市の出荷ルートを活用してはどうか。
- 既存の出荷者で足りないところをJ Aが補って，既存の生産者と連携して地産地消率を上げていけば良いのではないか。
- 出荷の際の手数料はどうなるのか。
- 納入場所の状況や保冷庫はどうなるのか。
- 市として構想を示してほしい。それに対して意見をもらった方が良い。
- スケジュールを立て協議していく必要がある。

6 会長のまとめ

- 生産者側と調理場側の双方の意見の聞き取りをしていく必要がある。
- 荷姿（コンテナ，段ボール等）については，次回検討する。
- 今年度中に安定調達のしくみづくりを行う。
- 次回は，学校給食における主要な野菜・果物の年間使用量と三次産農産物の年間使用量を示す資料を用いて，今回の協議で出された課題について検討を行う。
- 次回の会議は，協議内容に法人等や個人が営む事業に関わる金銭の出納や経営に関わる情報，事業を営む上で必要とされるノウハウなどの情報が含まれる可能性があるため非公開とする。

7 閉会